

当院は県内唯一の総合周産期母子医療センターを併設しています。

NICUでは、極めて未熟性の高い低出生体重児や合併症を持つハイリスク新生児の受け入れを行い、早期に子どもの状態安定が図れるよう看護を行っています。産科病棟では、NICUと連携し、妊娠高血圧症候群、切迫早産・前期破水、胎児発育不全といったハイリスク症例を中心に年間に約700件の分娩管理を行っています。近年では母体や胎児・新生児のハイリスク事例はもちろんのこと、社会的ハイリスクの背景を抱えた妊産褥婦さんも多く受診しており、その人を取り巻くご家族や地域との連携も重要となっています。医療ソーシャルワーカーや心理士・地域の保健師さんや訪問看護ステーションなどとの連携も欠かせなくなっており、他部門との連携をしながらその人に合ったきめ細やかなケアを実践しています。

～2C 病棟～

産科病棟である2Cは、師長はじめスタッフ総勢35人で日々妊産褥婦さんの看護を行っています。今年には新人5人が入職しました。

カンファレンス

毎朝医師・看護師・薬剤師で患者さんの治療方針についてカンファレンスしています。MSW や心理士が入ることもあります。

看護助手の鈴木さん

鈴木さんのお蔭で病棟がきれいになりました。

薬剤師の風間さん
薬のことは、
お・ま・か・せ♪

クラークの入野さん
仕事ができる彼女です。

主任会議の一コマ。

病棟の改善に向け、日々努力してくれています。頼りになる主任さん達です。



MSW の齊藤さん。
頼りにしています。



昨年度分娩室をリニューアルしました。

現在アドバンス助産師が院内で14人在籍し、産科病棟のみならず、NICU・小児科病棟・婦人科病棟・産婦人科外来などで活躍しています。



NICU 小林師長

2C 中嶋師長

～NICU～



NICU と GCU の朝のカンファレンスの様子です。日々、患者さんの状態を共有しています。

小さな命と向き合う日々
毎日が抜けません。



医師・看護師・MSW(医療ソーシャルワーカー)、心理士を含めたカンファレンス。赤ちゃんにとって最適な治療や看護は何か、情報共有しています。



心理士の榎原さん★斉藤さん
お母さん・ご家族の心のケアをしてくれます。



保育士の熊崎さん
赤ちゃんの成長発達に合わせた遊びを考えてくれます。先日は20でもお世話になりました。



栄養士の松本さん
搾乳やミルクの準備、数ミリ単位で調整してくれます。

NICU では赤ちゃんの表情や反応・モニター値などを見ながら対応を行っています。また、医師・看護師はもちろん、保育士・栄養士・薬剤師・退院支援コーディネーターなど様々な職種で協力し、赤ちゃんのご家族のサポートを行っています。

